

GAGGIA

MILANO



GAGGIA ANIMA BX

Instruction manual

CE

目次

1. 取扱説明書の利用方法	1	7.2.3 コーヒー経路の洗浄(週1回)	13
2. 製品概要	1	7.3 各容器の洗浄	13
2.1 製品	1	7.3.1 水タンクの洗浄	13
2.2 アクセサリー&メンテナンス用品	1	7.3.2 豆容器の洗浄(月1回)	13
2.3 主な部品	2	7.4 パナレロの洗浄	14
2.4 主な取り外し可能部品	2	7.4.1 パナレロの洗浄(使用毎)	14
2.5 コントロールボタンとディスプレイ	2	7.4.2 パナレロの洗浄(毎日)	14
3. 安全性	3	7.5 カルキ洗浄作業	14
3.1 安全上の注意	3	7.5.1 カルキ洗浄作業の中断	15
4. マシンの起動準備	5	8. メンテナンスメニュー	16
4.1 設置について	5	8.1 設定一覧	16
4.2 水の補充	5	8.2 設定の変更	16
4.3 コーヒー豆の補充	5	8.3 プログラムの初期化	16
4.4 電源コードを取付け起動する	5	9. トラブルシューティング	16
5. マシンの起動と停止	6	9.1 マシンメッセージ：赤色表示	17
5.1 選択ボタンの使用	6	9.2 警告表示	17
5.2 マシンの起動	6	9.3 マシンエラー	18
5.2.1 水回路空気抜き作業	6	9.4 よくあるお問い合わせ	18
5.2.2 自動すぎ	6	10. メンテナンス用アクセサリおよび製品	19
5.2.3 手動すぎ	6	10.1 メンテナンス製品	19
5.3 調整	7	10.2 インテンザ浄水フィルター	19
5.3.1 豆量の調整	7	10.2.1 インテンザ浄水フィルターの取付け方	20
5.3.2 セラミックコーヒーグラインダーの調整	7	10.2.2 インテンザ浄水フィルターの交換	20
5.3.3 抽出温度調整	8	11. 製品仕様	21
5.3.4 コーヒー抽出口位置調整	8	12. マシンの廃棄	21
5.4 主電源のON/OFF	8	13. 保証とアフターサービス	22
6. 使用方法	8	13.1 お問い合わせ先	22
6.1 コーヒーを抽出する	8		
6.1.1 豆に関して	8		
6.1.2 粉末コーヒーの使用(1杯のみ抽出可能)	8		
6.1.3 1ボタンで1杯のコーヒーを抽出する	9		
6.1.4 1ボタンで2杯のコーヒーを抽出する (コーヒー豆使用時のみ可能)	9		
6.1.5 コーヒー抽出量の調整	9		
6.2 パナレロ(ミルクフォーミング用部品)	9		
6.3 カプチーノなど、ミルクメニューの作り方	10		
6.3.1 ミルクメニューの抽出	10		
6.4 給湯	10		
6.4.1 給湯方法	10		
7. 清掃とメンテナンス	10		
7.1 マシンの清掃	11		
7.1.1 マシン清掃(必要時)	11		
7.1.2 マシン清掃(週1回)	11		
7.2 ブルーイングユニット洗浄	11		
7.2.1 ブルーイングユニット洗浄(毎日)	11		
7.2.2 ブルーイングユニットのグリスアップ(月1回)	12		

記号

次の記号が取扱説明書の一部に使用されています。



禁止事項を示します。



注意事項を示します。

> 指示に従って操作してください。

警 告

電化製品を使用する場合、次の事項を含め、基本的な安全上の注意事項を必ず守って下さい。

1. 取扱説明書を必ず読んで下さい。
2. マシンは使用中、高温になりことがあります。高温になる個所に触れずハンドルまたはつまみを使用してください。
3. 火災、感電、人身傷害を避けるために、コード、プラグ等を水やその他の液体に浸さないでください。
4. マシンを子供の近くで使用される場合、近くでの監督が必要です。
5. 未使用時や清掃時はコンセントからプラグを抜いてください。
部品の取り外しや、マシンを清掃する前にはマシンを充分冷ましてから実行してください。
6. コードやプラグ、マシンが故障、破損しているものは絶対に使用しないでください。検査、修理、整備のため、サービスセンターに連絡してください。
7. メーカー推奨以外の付属品を使用すると、火災、感電、事故につながる可能性があります。
8. 屋外では使用しないでください。
9. コードをテーブルやカウンターの端にかけたり、マシンの高温になる個所に触れさせないでください。
10. ガス、電気コンロの上や近くにマシンを置かないでください。また、オープンに入れないでください。
11. マシン起動時にはプラグをマシンに接続してから、コードをコンセントに接続してください。OFF時には電源スイッチを「OFF」にしてから、コンセントからプラグを抜いてください。
12. マシンを本来の目的以外に使用しないでください。
13. 上記の項目を厳守してください。

注 意

清掃やメンテナンス以外の作業は、認定サービスセンターで行ってください。

マシンを水に浸さないでください。火災や感電の危険を避けるため、分解しないでください。

マシン内の部品は販売、譲渡しておりません。修理は認定サービス技術者のみが行ってください。

1. 銘板に示されている定格電圧が、使用家屋の電圧と一致することを確認してください。
2. 水タンクにはお湯を入れないでください。冷水のみを使用してください。
3. マシン稼働中は手やコードをマシンの高温部分に近づけないでください。
4. 清掃時、研磨剤や効き目の強い洗浄剤を使用しないでください。
5. コーヒーを美味しく抽出するために、浄水またはボトル入りの水を使用してください。
6. キャラメル、フレーバーコーヒー豆は使用しないでください。

電源コードの説明

- A. 電源コードのねじれ、引っかかり等のリスクを軽減するために、短い電源コードを使用しています。
- B. 延長コードの使用は可能ですが、設置や接続に注意してください。
- C. 延長コードを使用する場合は、
 1. 延長コードの定格電圧が、マシンの定格電圧と同じである必要があります。
 2. 電源コードの形状と一致した、延長コードを使用してください。
 3. 延長コードをカウンターやテーブルの上から垂らさないように配置する必要があります。子供が引っ張ったり乗り越えたりすることができないよう、設置してください。

1. 取扱説明書の利用方法

Gaggia ANIMA 全自動コーヒーマシン（以下マシン）をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書には、マシンの設置、仕様、清掃、およびカルキ洗浄作業に必要なすべての情報が記載されています。

- ・「2. 製品概要」では、マシンのボタン、部品について記載しています。
- ・「3. 安全性」では、マシンの誤った使用方法による危険防止の項目が記載されています。必ずお読みください。
- ・「4. マシン起動の準備」と「5. マシンの起動と停止」では、マシンの配置と使用準備の段階的な説明が記載されています。
- ・「6. 使用方法」では、マシンの使用方法について説明しています。抽出できるすべての飲料のリストが記載されています。
- ・「7. 清掃とメンテナンス」では、マシンを最高の状態に保つための方法が記載されています。
- ・マシンに関する問題については、「9. トラブルシューティング」を参照してください。
- ・その他の項目でも、スピーディーな使用をサポートします。

▲ 本書（取扱説明書）はマシンに不可欠な物であり、マシンの取り扱い方を参照するために大切に保管してください。

2. 製品概要

2.1 製品

本製品はコーヒー豆から豆を挽いてエスプレッソ式のコーヒーを抽出できます。

給湯と飲み物を温めるためのスチームの使用も可能です。

美味しいカプチーノを作るために、簡単にフォームドミルクを作ることができるパナレロが付属されています。

・Gaggia 適応システム

コーヒーは植物の種子であり、その特徴はブレンドと焙煎、原産地によって異なります。

本製品はお気に入りのコーヒー豆をさらに美味しく抽出するために、豆量の自動調整システムが装備されています。

・コーヒー豆量の調整

コーヒー濃度を選択し、お好みに合わせて引く豆の量を調整することができます。

あらかじめ粉にしたコーヒーも使用することができます。

・セラミックコーヒーグラインダー

セラミック製のグラインダーは他の材質より豆を均一に引くことができ、回転摩擦による熱の発生を比較的抑えることができます。

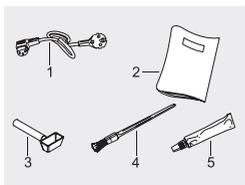
挽き粗さの調整により、より好みの味のエスプレッソを安定して抽出することができます。

・省エネ機能

Gaggia全自動エスプレッソマシンは、省エネ機能が搭載されています。

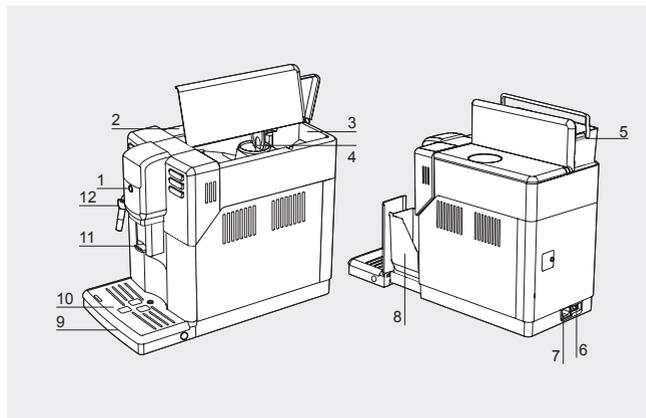
予め設定された時間内に操作されない場合、自動的にスタンバイモードになります。

2.2 アクセサリー&メンテナンス用品



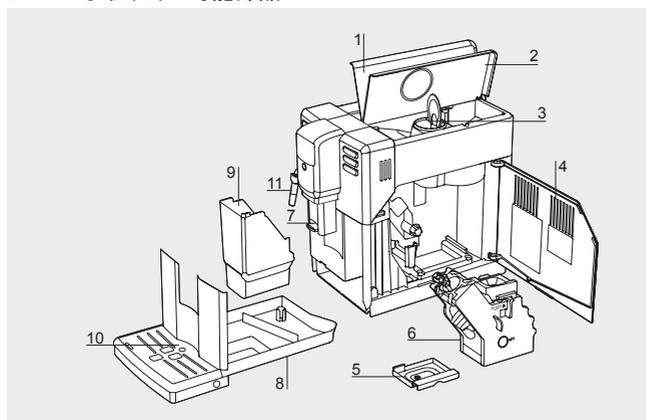
1. 電源コード
2. 取扱説明書
3. コーヒーグラインダー調整キー
粉末コーヒー出口ダクトクリーニングツール
粉末コーヒー用測定スプーン
4. クリーニングブラシ
5. プルーイングユニット用グリス 5g
6. カルキ洗浄溶剤
7. クリーニングタブレット
8. 定期メンテナンスについて（小冊子）

2.3 主な製品



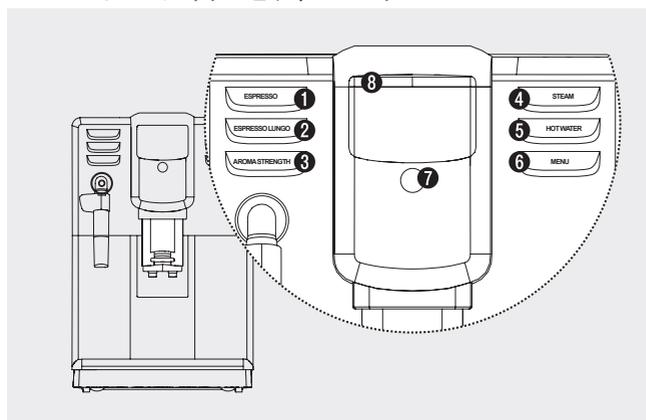
1. スタンバイボタン (節電ボタン)
2. 水タンク受け (本体側)
3. 豆容器
4. 粉末コーヒーおよび
クリーニングタブレット投入口
5. 水タンク (取り外し可能)
6. 電源スイッチ
I.ON
O.OFF
7. 電源コード用ソケット
8. カス容器入れ
9. 排水トレイ
10. 目皿
11. 可動抽出口
12. パナレロ
(ミルクフォーム用部品)

2.4 主な取り外し可能部品



1. 水タンクフタ
2. 豆容器フタ
3. 粉末コーヒー投入口フタ
4. サービスドア
5. コーヒー粉受け皿
6. ブルーイングユニット
7. 可動抽出内
8. 排水トレイ
9. カス容器
10. 排水浮き
11. パナレロ
・スチーム/給湯ノズル (固定)
・ラバーグリップ

2.5 コントロールボタンとディスプレイ



1. ☕ エスプレッソボタン
2. ↶ ESC (エスケープ) ボタン
3. ☕ エスプレッソ/ロングボタン
4. ☕ 豆量調整・粉末コーヒー切替ボタン
5. ✓ OKボタン
6. ☕ スチームボタン
7. ⬆️ UPボタン (上方向へ移動)
8. ☕ 給湯ボタン
9. ☕ メニューボタン
10. ⬇️ DOWNボタン (下方向へ移動)
11. ⏻ スタンバイボタン (節電ボタン)
12. ディスプレイ
左図表示は
メインメニュー: 抽出可能な表示

3. 安全性

マシンには安全機能が装備されておりますが、本書「3.1 安全上の注意」をしっかりと読みその内容に従ってください。誤った操作をしますと、マシンが破損する恐れがあります。本書を参考に取り扱いをお願いします。

3.1 安全上の注意

●「警告」では、重大なケガ、人命の危機やマシンの損傷の可能性がある警告します。

●「注意」では、軽傷やマシンの損傷の可能性がある事案を注意しています。

 操作やメンテナンスを行う前に、本書をしっかりと読みください。

警告

 マシンの仕様にあった電圧のコンセントを使用してください。

 アース付きのコンセントを使用してください。

 電源コードをテーブルやカウンターの端にかけたり、マシンの高温になる個所に触れさせたりしないでください。

 マシン、電源プラグまたは電源コードを水に浸さないでください。感電の危険があります。

 電源コードソケットを濡らさないようにしてください。

 スチーム／給湯ノズルを身体に向けしないでください。火傷の危険があります。

 マシンの高温になる個所に触れないでください。ハンドル、つまみを使用してください。

 以下の場合、背面にあるメインスイッチの電源を切ってから、電源コードをソケットから抜いてください。

-故障が発生した場合。

-長時間使用しない場合。

-マシンを清掃する場合。

 電源コードを抜く場合、コードではなくプラグを引張って下さい。

 濡れた手で電源コードに触れないでください。

 マシンや電源コードが損傷している場合は、マシンを使用しないでください。

 マシンや電源コードを改造しないでください。

 危険を避けるために、フジ産業サービスセンター以外で修理をしないでください。

 8歳未満のお子様にはマシンを使用させないでください。

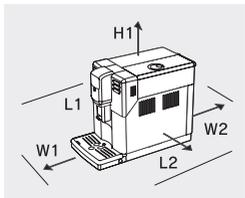
- ⚠ 大人の監督下において、マシンの正しい使用方法や関連する危険性を認識している場合、8歳以上のお子様でも使用することができます。
- ⚠ 8歳以上で大人が監督する場合を除き、お子様のみでの清掃およびメンテナンスは行わないでください。お子様のみでマシンを使用しないでください。
- ⚠ マシンは8歳未満のお子様の手が届かないところに保管してください。
- ⚠ お身体の不自由な方、もしくはマシンの取り扱いが不慣れな方でもマシンの正しい使用方法や関連する危険性を認識している場合、または大人が監督している場合は使用することができます。
- ⚠ お子様マシンで遊ぶことがないよう、目を離さないでください。
- ⊖ コーヒーグラインダーに指や、コーヒー豆以外の物を入れないでください。

注意事項

- ⚠ マシンは常に平らで安定した場所に設置してください。
- ⊖ 高温のオープン、ヒーターまたは同様の熱源の近くにマシンを置かないでください。
- ⚠ 焙煎したコーヒー豆以外は豆容器に入れないでください。粉コーヒー、インスタントコーヒー、生豆などを入れると故障の原因になります。
- ⚠ マシンは一部、使用後に熱を持つ箇所があります。部品の取り付け、取り外しはマシンが充分冷えてから行ってください。
- ⊖ 水タンクにはお湯を入れないでください。冷水（炭酸水を除く）をご使用ください。
- ⊖ スクラブパウダー（研磨剤）や強い洗剤で決して洗浄しないでください。水で湿らせた柔らかい布を使用してください。
- ⚠ 定期的に除石灰作業を行ってください。マシンには除石灰作業が必要なタイミングを知らせる機能があります。除石灰作業を行わないと、マシンが正常に作動しなくなる可能性があります。この場合、修理は保証の対象外となります。
- ⊖ マシンを0°C以下の環境で保管、使用しないでください。マシン内部の残留水が凍結し、破損する可能性があります。
- ⊖ 長時間使用しない場合は、水タンクを空にしてください。

4. マシンの起動準備

4.1 設置について



- ⚠ 「3. 安全性」の項目を必ずお読みください。

マシンを使用しやすい適切な場所に設置し、十分なスペースを確保してください。

作業スペース

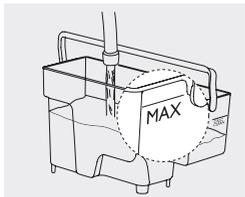
L1	L2	W1	W2	H1
150 mm	220 mm	430 mm	150 mm	340 mm

開梱と設置

外箱、緩衝材は輸送中にマシンを保護するよう設計されており、再度輸送する場合に備え、保管しておくことをお勧めします。

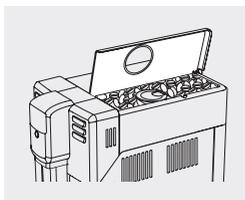
- > 梱包からマシンを取り出します。
- > 熱源や直射日光を避けた、衛生的であり安全かつ水平なコンセントに近い場所に設置してください。精密機械（パソコン等）家電製品（テレビ等）の近くにマシンを設置しないでください。
- > 作業スペースを考慮し、設置してください。

4.2 水の補充



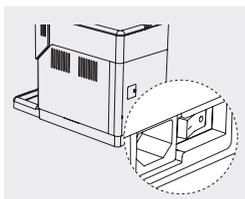
- > 水タンクのフタを開けます。
- > 水タンクのハンドルを持って持ち上げます。
- > 水タンクを水ですすいでください。
- ⊖ 水タンクにお湯、炭酸水を入れしないでください。マシン、タンクが破損する可能性があります。
- > 水タンクに水をMAXレベル（左図参照）まで注いでください。
- > 水タンクをマシンに戻しフタを閉めます。水タンクがしっかり取付けられていることを確認してください。

4.3 コーヒー豆の補充



- > 豆容器のフタを開けます。
- ⊖ 豆容器にコーヒー豆を過剰に入れしないでください。グラインダーの性能が低下する可能性があります。
- ⚠ パウダーコーヒー、インスタントコーヒー、生豆、カラメル・フレーバー豆などを豆容器に入れると故障の原因になります。必ずローストされたコーヒー豆だけを使用してください。
- > コーヒー豆を豆容器にゆっくりと注ぎ、フタを閉めてください。

4.4 電源コードを取付け起動する。



- > 電源コードを本体背面の電源コードソケットに差し込みます。
- > 電源コードを適切な電圧のコンセントに差し込みます。（サービスドア内側のシール参照）
- > 電源スイッチを「ON（I側）」の位置にして、マシンの電源を入れます。
- > ⏻ スタンバイボタンが点滅するので、ボタンを押しマシンを起動させます。起動後はディスプレイに表示される指示に従ってください。（「5.2 マシンの起動」参照）

5. マシンの起動と停止

5.1 選択ボタンの使用

⚠ 「3. 安全性」の項目を必ずお読みください。

各種ボタンを使用して、機能/メニューを操作することができます。

- ✓ 「OKボタン」 : 機能の選択/確定/停止に使用します。
- ↶ 「ESCボタン」 : 押す毎にひとつ前の選択メニューへ戻ります。
- ↗ 「UPボタン」 : 選択メニューを上方向へ移動します。
- ✓ 「DOWNボタン」 : 選択メニューを下方向へ移動します。

5.2 マシンの起動

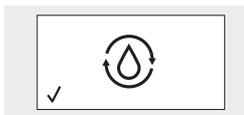
初めてマシンを起動する前には、次の操作をする必要があります。

- マシン内部の水回路空気抜き作業
- 自動すすぎ (1回)
- 手動すすぎ (1回)

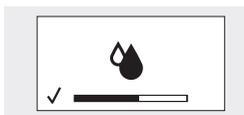
5.2.1 水回路空気抜き作業

作業中に水がマシン内部の水回路を流れマシンが加熱されます。作業には数分かかります。

- > パナレロが設置されていることを確認してください。
- > パナレロの下に空の容器を置いてください。
- > ✓ 「OKボタン」を押すと空気抜き作業が開始され、パナレロからお湯が出てきます。ディスプレイに作業の進み具合がプログレスバーによって表示されます。作業終了後、自動的に給湯が停止されディスプレイにマシンを加熱していることが表示されます。



5.2.2 自動すすぎ



- > 空の容器を可動抽出口の下に置いてください。
- ⚠ 危険！ 熱湯やスチーム蒸気には十分注意してください。抽出口からお湯が出てきます。作業は1分ほどで自動的に終了します。
- ✓ 「OKボタン」を押すことにより作業を中断することができます。
- > マシンはメインメニューに戻るので、お湯の入った容器を空にします。作業終了後、手動すすぎを開始することができます。

5.2.3 手動すすぎ

手動すすぎは2つの作業を行います。

- コーヒー抽出回路のすすぎ : 2回
- スチーム、給湯回路のすすぎ : 1回

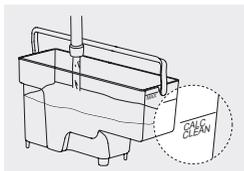


コーヒー抽出回路のすすぎ

- > 可動抽出口の下に空の容器を置きます。
- > ☕ 「エスプレッソソングボタン」を押します。(コーヒーが抽出されます) 再度、同じ作業を繰り返します。
- > コーヒーの入った容器を空にします。
- ✓ 「OKボタン」を押すことにより作業を中断することができます。

スチーム、給湯回路のすすぎ

- > 「4.2 水タンクへ水の補充」の指示に従い、水タンクに「CALC CLEAN」まで水を補充してください。(左図参照)





5.3 調整

5.3.1 豆量の調整



- > 「6.4.1 給湯方法」の指示に従って、水タンクが空になるまで給湯を続け「水タンクカラ」のアイコンが表示されるのを確認します。(左図参照)
- > 「4.2 水タンクへの補充」の指示に従って、水タンクをMAXレベルまで満たしてください。
マシンのコーヒー抽出の準備は完了です。

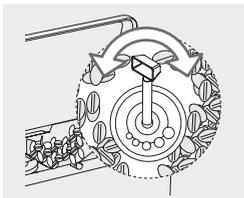
マシンには、標準的なコーヒーの抽出ができるよう、初期設定がされています。コーヒーの味と品質を高めるために、設定を調整することをお勧めします。より強い味を得るためには、抽出温度、豆量、豆の挽粗さの調整を行います。

- > 豆量調整ボタンを押す度に、コーヒーの豆量が1段階変化します。ディスプレイには以下の5段階で豆量が表示されます。

●●●●●		約6g	マシンが自動的に最適な量のコーヒーを計量します。 ※お使いの豆の種類・挽き粗さにより、量は前後します。
●●●●●			
●●●●●			
●●●●●			
●●●●●		約10g	
	粉末コーヒー		<small>粉末コーヒー用測定スプーンを使用し、計量してください。※必ず付属の測定スプーン使用し、すり切り1杯分を入れてください。マシンが適切な量でないと判断した場合、抽出不可となります(6.1.2参照)</small>

- ▲ マシンはプログラムにて挽かれる豆量(粉量)を最適になるように自動調整します。
基準値よりもブルーイング(抽出器)に入る豆量(粉量)が少ない時は次回の抽出時に豆量(粉量)が微増します。
基準値よりもブルーイング(抽出器)に入る豆量(粉量)が多い時は次回の抽出時に豆量(粉量)が微減します。
基準値よりもブルーイング(抽出器)に入る豆量(粉量)が非常に多い時は抽出を中止して粉のままカス入れに捨てられ、次回の抽出時に豆量(粉量)が多めに減ります。
マシンに新しく豆を入れてコーヒーを抽出する際は、上記のプログラムによって安定した基準となる豆量(粉量)が決まるまでに最大で300グラム~500グラムの豆を挽いて抽出を繰り返す必要がある場合があります。
豆量に応じた過剰抽出の目安は、「6g=約80ml、7g=約100ml、10g=150ml」になります。また、豆の挽きが細かいほど味が濃くなります。
(※今後、豆の種類を途中で変えた場合も、その都度自動調整プログラムによって新たに挽かれる豆量(粉量)の基準値が自動で調整されます。)

5.3.2 セラミックコーヒーグラインダーの調整



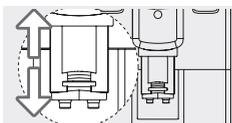
- ▲ グラインダーの調整は、グラインダー停止時に行うことができます。
- > 豆容器のフタを開けます。
- > グラインダー調整ノブを確認します(左図参照)。ノブの周りにある「O」の大きさが、豆の挽粗さを表しています。一番左(O大)の位置に△を併せると、挽き粗さが粗く味が軽くなります。
右に回すほど「O」が小さくなり、挽き粗さが細かく、味が強くなります。調整には付属の調整キーを使用し、押しながら1目盛りずつ回して調整してください。まとめて調整すると故障の原因になります。
- > 2~3杯のコーヒー抽出後に、調整した味が反映されます。

5.3.3 抽出温度調整

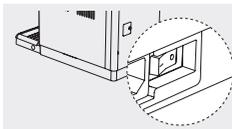
コーヒー抽出温度を変更するには「8.2 設定の変更」を参照してください。

5.3.4 コーヒー抽出口位置調整

コーヒー抽出口の高さは、使用するカップの大きさに高さを調整することができます。高さを調整するには手で抽出口のつまみを持ち、上下に動かしてください。



5.4 主電源のON/OFF



コーヒーおよび給湯、スチームを最後に使用してから、8時間全く操作をしなかった場合、自動的にスタンバイモード（節電モード）になります。スタンバイモードへの切替時間は変更することが可能です。「8. 初期設定」を参照してください。

- ☉ スタンバイモード時、スタンバイボタンが点滅します。コーヒーを抽出していた場合、3時間後に自動すすぎが実行されます。

主電源OFF

- > マシンの主電源をOFFにするには、マシンがスタンバイモードに入っているのを確認してから、マシン背面にある電源スイッチをOFFの位置（「O」の位置）にしてください。

主電源ON

- > マシン背面にある電源スイッチをONの位置（「I」の位置）にしてください。

- > ☉ 再起動には電源スイッチをONにした後、スタンバイボタンを押してください。「5.2.1 水回路空気抜き作業」を行うか、「5.2.2 自動すすぎ」を行うか判断します。

▲ 「3. 安全性」を必ず読んで下さい。

マシンの品質を維持するために、電源を入れる度「5.2.2 自動すすぎ」が開始されます。（マシンが温まっている場合は実行しません）

6. 使用方法

6.1 コーヒーを抽出する

コーヒーの抽出量の初期設定変更は、「6.1.4 コーヒー抽出量の設定」を参照してください。マシンはコーヒーを2枚まで同時に抽出することができます。

6.1.1 豆に関して

豆は「エスプレッソ用」と指定してください。また、全自動マシンに適した豆のロースト

（焙煎）は「シティ、またはフルシティ」の中からお選びください。目安は豆の色がダークチョコレートです。

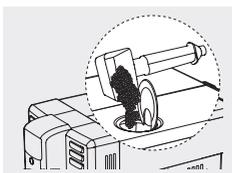


黒っぽいイタリアンやフレンチは向きです。

ロースト具合が深すぎると豆の表面に豆の油分が現れます。その結果、豆を挽く際に滑りが発生したり豆容器に豆が付着してしまいグラインダーのトラブルになる可能性があります。弊社ではフルシティ、シティの焼き具合を推奨しております。尚、フレーバーコーヒー等はトラブルの原因となりますのでご使用はお控えください。

※豆には油分が含まれています。豆を挽く都度、油分はグラインダー刃に付着します。また、コーヒーラインにも付着し固着します。マシンの不具合、味の悪化につながりますので、定期的なグラインダー刃、ブルーイングユニット、コーヒーラインの洗浄が必要になります。

6.1.2 粉末コーヒーの使用 (1杯のみ抽出可能)



粉末コーヒーを使用した抽出が可能です。2杯同時での抽出は出来ません。

- ▲ 粉末コーヒー投入口に粉末コーヒー以外の物を入れると、マシンに重大な損傷を与える可能性があります。この場合の損傷は保証の対象外となります。

- ▲ マシンに付属している粉末コーヒー用測定スプーンのみを使用してください。測定スプーンすり切り1杯分以上の粉末コーヒーを投入すると、マシンはコーヒーを抽出せず粉末コーヒーはカス受けに排出されます。

- > 粉末コーヒー投入口フタを開け、専用測定スプーンで計量した粉末コーヒーを投入します。投入量が足りない場合、コーヒーではなくお湯が注がれます。
- > 粉末コーヒー投入口フタを閉めます。



- > ☕ 豆量調整/粉末コーヒー切替ボタンを繰り返し押し、粉末コーヒー抽出（左図参照）を選択します。
- > カップを1つ可動抽出口の下に置きます。

6.1.3 1ボタンで1杯のコーヒーを抽出する

エスプレッソ/エスプレッソルンゴを1杯抽出する。

- > ☕ エスプレッソを抽出するには、「エスプレッソボタン」を1回押してください。
 - > ☕ エスプレッソルンゴを抽出するには、「エスプレッソルンゴボタン」を1回押してください。マシン作動後、可動抽出口からコーヒーが抽出されます。
 - ✓ コーヒーは予め設定された量を抽出します。抽出中に「OKボタン」を押すと設定された量に達する前に抽出を停止させることができます。
- コーヒー抽出後、マシンはメインメニューに戻ります。

6.1.4 1ボタンで2杯のコーヒーを抽出する（コーヒー豆使用時のみ可能）

- > カップを2つ可動抽出口の下に置きます。

エスプレッソ/エスプレッソルンゴを2杯抽出する

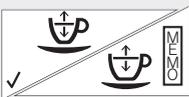
- > ☕ エスプレッソを2杯抽出するには、「エスプレッソボタン」を2回押してください。
 - > ☕ エスプレッソルンゴを2杯抽出するには、「エスプレッソルンゴボタン」を2回押してください。
 - ✓ マシン作動後、可動抽出口からコーヒーが抽出されます。
- マシンは2回豆を挽き、抽出を2回行います。
- コーヒーは予め設定された量を抽出します。抽出中に「OKボタン」を押すと、設定された量に達する前に抽出を停止することができます。
- コーヒー抽出後、マシンはメインメニューに戻ります。

6.1.5 コーヒー抽出量の調整

抽出するコーヒーをお好みの量に設定することができます。
この機能により、抽出量の初期設定を変更することができます。
濃い味のコーヒーを抽出するためには抽出量を減らしてください。
コーヒー抽出の準備をした後、可動抽出口の下にカップを置いてください。



- > ☕ エスプレッソの抽出量を調整するには、「エスプレッソボタン」を押し続け「MEMO」のマークがディスプレイに表示された後（左図参照）、ボタンを離します。
- > ☕ エスプレッソの抽出量を調整するには、「エスプレッソボタンルンゴ」を押し続け「MEMO」のマークがディスプレイに表示された後（左図参照）、ボタンを離します。

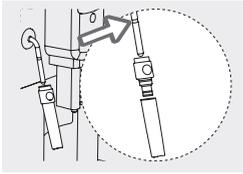


- > ✓ 希望の抽出量に達した時点で「OKボタン」を押してください。コーヒーの抽出が止まり抽出量が記憶されます。
以上で抽出量の調整が完了となります。
以後、マシンは設定された抽出量でコーヒーを抽出します。
抽出後、マシンはメインメニューに戻ります。

6.2 パナレロ（ミルクフォーミング用部品）

パナレロを使用した泡立てミルクの作り方を説明します。
初めて使用する場合、「7.4.1 パナレロの洗浄」を確認し洗浄してください。

- ▲ **高温注意！** 各メニュー抽出開始時に、熱湯または高温の蒸気が噴出される可能性があります。パナレロは高温になることがありますので、素手では触らずパナレロについているラバーグリップを利用してください。

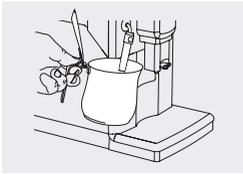


- パナレロを取り付ける
- > スチームノズルにパナレロを差し込み、所定の位置で固定します。
 - ▲ 高温注意！ マシン稼働中、稼働後はスチームノズルが熱くなる可能性があります。
 - ▲ スチームノズルに取り付けるパナレロが、所定の位置に正しく取り付けられていない場合、ミルクが泡立ちません。

6.3 カプチーノなど、ミルクメニューの作り方

美味しいカプチーノを作るためには、少なくとも3.5%程度の乳脂肪分を含む（種類別：牛乳と表示されているもの）、よく冷えた無調整のミルク（5℃以下）を使用してください。

6.3.1 ミルクメニューの抽出



- > 使用する（取る）ピッチャーに、150ml（1杯分）のミルクを注いでください。
- > パナレロをミルクに浸します。
- ▲ スチーム初動時に、熱湯、高温の蒸気、ミルクが飛び跳ねる可能性があります。
- ▲ パナレロを取り付けてから作業してください。

フォームミルクを1杯作る

- > ☞ 「スチームボタン」を押し、ミルクフォーミングを開始します。
- ミルクが温まるまで待ちます。
- > ピッチャーを静かに旋回、上下に動かしミルクを泡立てます。
- > ✓ ミルクがうまく泡立った時点で「OKボタン」を押し、蒸気を止めます。蒸気が完全に止まるまで、数秒かかります。3分間ボタンを押さなかった場合、自動的に蒸気は止まります。
- ▲ コーヒー抽出、給湯は蒸気使用後もすぐに利用できます。
- > カプチーノを作るためには、「6.1 コーヒーを抽出する」を参考に、エスプレッソまたはエスプレッソロング抽出してください。
- ▲ 使用後は「7.4.1 パナレロの洗浄（使用毎）」の記載どおり、少量のお湯を容器に出す必要があります。



6.4 給湯

6.4.1 給湯方法



- > パナレロが取付けられていることを確認します。
- > 容器をパナレロの下に置きます。
- ▲ 高温危険！ 給湯開始時に、熱湯または蒸気が飛び散る可能性があります。パナレロは高温になることがありますので、素手では触らずパナレロについているラバーグリップを利用してください。
- > ☞ 給湯ボタンを押すとお湯が出ます。予熱時間のため、給湯開始まで時間がかかることがあります。必要な分量を、給湯してください。
- > ✓ 給湯を停止するには「OKボタン」を押してください。停止後マシンはメインメニューに戻ります。

7. 清掃とメンテナンス

マシンの定期的な清掃、メンテナンスは、マシンを長くご使用いただくために必要な作業になります。

清掃、メンテナンスを行わないと、マシンが正常に動作しなくなる可能性があります。マシンの清掃、メンテナンスの手順について説明します。

- ▲ 「3. 安全性」を必ず読んでください。
- ▲ 清掃、メンテナンスはマシンが冷却されていることを確認してから実行してください。
- ▲ マシンの清掃には水に濡らし固く絞った柔らかい布を使用してください。アルコール、溶剤、研磨剤は使用しないでください。目皿と「7.4.2 パナレロの洗浄（毎週）」に記載されているパナレロのみ、食洗器が使用可能です。その他の部品は、ぬるま湯で洗浄してください。

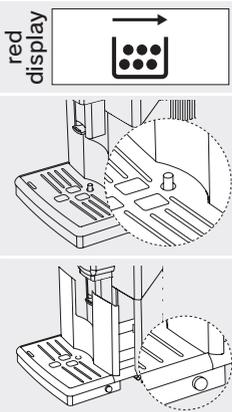
▲ 清掃およびメンテナンス作業中の損傷、不適切な使用による損傷は保証の対象外になります。

清掃の項目	毎日	毎週	毎月又は500杯抽出時	警告表示時	対象商品	メンテナンスをしない場合の不具合
カス容器洗浄	○(7.1.1)	●			弱アルカリ性洗剤	悪臭、カビ
排水トレイ洗浄	○(7.1.1)	●			弱アルカリ性洗剤	シミ
ブルーイングユニット洗浄	○(7.1.2)	●(7.2.3)			クリーニングタブレット	つまり・故障
水タンク洗浄	○(7.3.1)	●			弱アルカリ性洗剤	ぬめり
バナレロ	○(7.4.2)	●			弱アルカリ性洗剤	悪臭、衛生上の注意
浄水フィルター交換				●(10.2.2)	インテンザ	除石灰の頻度が多くなる
ブルーイングユニットグリスアップ			●(7.2.2)		グリース	BUの故障
カルキ洗浄				●(7.5)	カルキ洗浄溶剤	水漏れ、温度が下がる

○ 水洗い ● メンテナンス品使用 カッコ内の数字は説明書の項目 No. になります。

7.1 マシンの清掃

7.1.1 マシンの清掃(必要時)



▲ 「カス容器清掃」のアイコン(左図参照)が表示された場合、次のように対応してください。

▲ 高温危険! マシンを清掃する前に、マシンが充分冷えていることを確認してください。

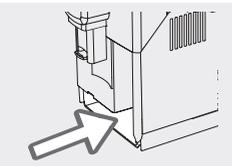
▲ 本作業は「排水ウキ」が上がった場合も行う必要があります。(左図参照)排水浮きが上がった場合、排水トレイが排水で満たされていることを意味します。排水トレイの取り外しは、注意して行ってください。

▲ 本作業は電源が「ON」の状態で行ってください。「OFF」の状態で行うと杯数カウンターがリセットされず、「カス容器清掃」アイコンが消えません。
「9.4 トラブルシューティング」を参照してください。

- > 排水トレイ両脇にあるサイドボタンを押します。
- > 排水トレイを手前に引きマシンから取り外します。
- > 排水トレイからカス容器を取り外し、カスを捨ててください。
- > 排水トレイから排水を捨て、洗浄してください。
- > カス容器を排水トレイに戻し、排水トレイをマシンに取り付けてください。

▲ 本作業以外の清掃は、マシンの電源をOFFにし、電源コードを外してから行ってください。

7.1.2 マシン清掃(週1回)



- > 「7.1.1 マシン清掃(必要時)」の排水トレイ清掃と合わせ、排水トレイのマシン側受け入れ箇所を清掃してください。
- > 排水トレイを元に戻します。

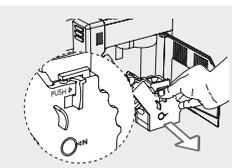
7.2 ブルーイングユニット洗浄

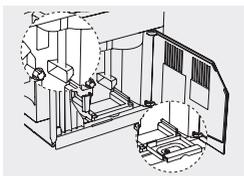
7.2.1 ブルーイングユニット洗浄(毎日)

ブルーイングユニットは、少なくとも1日に1回は清掃する必要があります。ブルーイングユニットの洗浄は水で行ってください。温水、洗剤は使用しないでください。

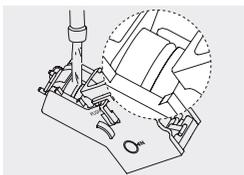
ブルーイングユニットをマシンから取り外し、洗浄する。

- > ⏻ スタンバイボタンを押し、マシンをスタンバイモードにします。スタンバイボタンの点滅確認後、電源ボタンを「OFF」にし電源コードをプラグから外します。
- > 排水トレイのサイドボタンを押します。
- > 排水トレイを取外します。
- > サービスドアを開きます。
- > ブルーイングユニットを取外すには：
 - ・プッシュボタンに親指を置き、固定ハンドルに他の指を置きます。
 - ・プッシュボタンを押しながら、ハンドルを引きます。
- > ブルーイングユニットを水平に手前に引き、取り外します。

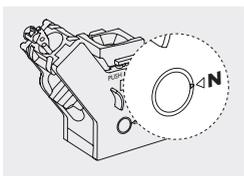




- > 付属のクリーニングツールを使用し、マシンからブルーイングユニットへのコーヒー供給口を清掃して下さい。
- > コーヒー粉受け皿を取り出し、洗浄してください。

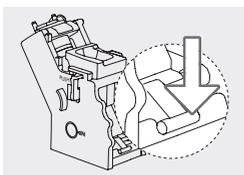


- > 水でブルーイングユニットを洗浄してください。上部フィルターは必ず洗浄してください。
- プルーイングユニットの洗浄に、洗剤や石鹼は使用しないでください。
- > プルーイングユニットをしっかりと乾燥させます。
- > 水で濡らし、固く絞った柔らかい布で、マシン内部を清掃してください。

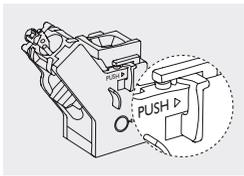


ブルーイングユニットをマシンに取り付ける

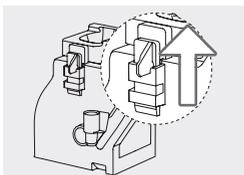
- > コーヒー粉受け皿を、マシンに取り付けます。
- ▲ コーヒー粉受け皿が正しく取り付けられていない場合、ブルーイングユニットがマシンに取り付けられない場合があります。
- > プルーイングユニットが正しいマシン取付け状態になっていることを確認します。ブルーイングユニット正面にある「N」左横の、大小2つの「Δ」が互いに向き合っていることを確認してください。



- > 「Δ」が向き合っていない場合、マシン右側面のレバーをブルーイングユニット下の基部に触れるまで下げてください。2つの「Δ」が向き合います。



プッシュボタンを矢印側に強く押します。



- > プルーイングユニット裏側にあるロックが正しい位置にあることを確認します。
- > ロックが下がっている場合、所定の位置に固定されるまで持ち上げてください。
- > プルーイングユニットを、引っ張っても外れなくなる位置まで押し込み、マシンに取り付けます。
- > 排水トレイをマシンに取り付け、サービスドアを閉めます。

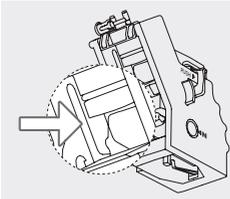
7.2.2 プルーイングユニットのグリスアップ (月1回)

約500杯のコーヒー抽出、もしくは少なくとも月1回は、ブルーイングユニットのグリスアップを行ってください。

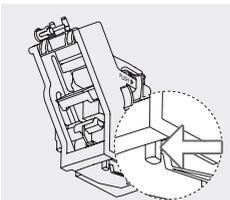
付属のグリスが無くなった場合は、別途購入することができます。

詳細は「10.1 メンテナンス部品」を参照してください。

「7.2.1 プルーイングユニット清掃 (週1回)」にあるブルーイングユニットの洗浄を行ってから、グリスアップを実行してください。

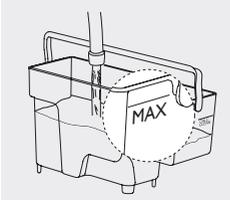


> 両側のサイドガイドにグリスを均一に塗ってください。



> 底面のシャフトにもグリスを塗ってください。
「7.2.1 ブルーイングユニット洗浄（毎日）」と同じように、ブルーイングユニットをマシンに取り付けます。

7.2.3 コーヒー経路の洗浄（週1回）



約200杯のコーヒー抽出毎、もしくは週1回、コーヒー経路の洗浄を行ってください。
クリーニングタブレットは別売りです。詳細は「10.1 メンテナンス製品」を参照してください。

▲ クリーニングタブレットはコーヒー経路の洗浄作業専用です。
カルキ洗浄作業にはカルキ洗浄専用溶剤を使用し、「7.5 カルキ洗浄作業」に記載されている手順に従ってください。

> 可動抽出口の下に1.5ℓの容器を置いてください。

▲ 高温危険！ 熱湯や蒸気に注意してください。

> 水タンクに水をMAXレベルまで満たしてください。

● 洗浄作業中は、粉末コーヒー投入口に粉末コーヒーを入れないでください。

> 粉末コーヒー投入口から洗浄用錠剤を入れてください。

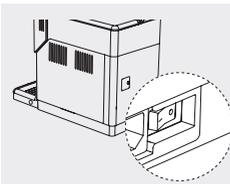
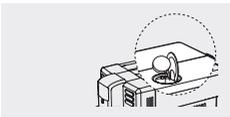
> ☕ マシンをコーヒー抽出可能な状態（メインメニュー画面）にし、豆量調整/粉末コーヒー切替ボタンを押して粉末コーヒー抽出を選択してください。

> ☕ エスプレッソソノゴボタンを押してください。可動抽出口から水が供給され始めます。

> ディスプレイのプログレスバーが中央に達したとき、電源スイッチをOFF（「○」の位置）にして電源を落としてください。
洗浄が終わるまで電源を落としたまま「約15分」お待ちください。

> 電源スイッチをON（「I」の位置）にして、マシンの電源を入れます。

> ⏻ スタンバイボタンを押し、「5.2.2 自動すすぎ」の終了を待ちます。
すすぎ終了後、「7.2.1 ブルーイングユニット清掃（週1回）」を実行してください。



7.3 各容器の洗浄

7.3.1 水タンクの洗浄

> 水タンクから浄水フィルターを取外し（取付時）、洗浄してください。

7.3.2 豆容器の洗浄（月1回）

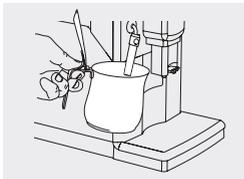
> 月に1回、豆容器を空にして水に濡らし固く絞った柔らかい布で豆容器を清掃してください。

> 豆容器に豆を淹れてください。

> 必要に応じて粉末コーヒー投入口も乾いた布で拭いてください。

7.4 パナレロの洗浄

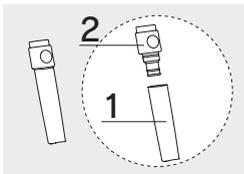
7.4.1 パナレロの洗浄 (使用毎)



衛生面ときめ細かな三付くフォーム抽出のため、パナレロの使用後の洗浄が重要になります。

- ▲ パナレロから噴出されるお湯、蒸気を受け止められるように、容器をパナレロの下に置いてください。
- > ☹️ スチームボタンを押し、数秒間スチームを出します。
- > ✓ スチームを止めるにはOKボタンを押してください。
- ▲ 高温危険！パナレロから熱湯、高温のスチームが出ます。スチーム/給湯ノズルとパナレロは高温になるので、手で直接触れないでください。
- > パナレロを取り外し、ぬるま湯で洗浄してください。

7.4.2 パナレロの洗浄 (毎日)



毎日洗浄を行ってください。

- 1) パナレロ本体
- 2) ラバーグリップ

- ▲ 高温危険！マシン使用直後はスチーム/給湯ノズルとパナレロは高温になるので、素手で触らないでください。
- > パナレロを取り外し、ぬるま湯で洗浄してください。
- > ラバーグリップを取り外し、きれいな水で洗浄してください。
- > 水に濡らして固く絞った柔らかい布で、スチーム/給湯ノズルを洗浄してください。
- > パナレロとラバーグリップを組み立て、マシンに取り付けてください。
- ▲ ラバーグリップはスチーム/給湯ノズルに奥までしっかりと挿入してください。正しく取り付けられないと、ミルクがうまく泡立ちません。

7.5 カルキ洗浄作業



- ▲ ディスプレイにCALC CLEANアイコンが表示された場合、マシンのカルキ洗浄作業が必要となります。カルキ洗浄作業を行わないとマシンが故障する可能性があり、この場合の修理は保証の対象外となります。カルキ洗浄作業は、カルキ洗浄専用溶液を使用した洗浄工程とすすぎ工程から成り立ち、約30分の時間がかかります。

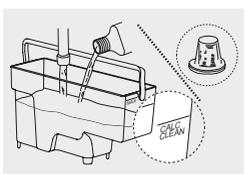
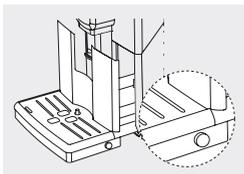
- カルキ洗浄作業中にブルーイングユニットを取外さないでください。
- カルキ洗浄溶液、作業中に排出されたコーヒー、水などは飲まないでください。
- ▲ カルキ洗浄作業にはカルキ洗浄専用溶液を使用してください。他の製品を使うと故障の原因になります。カルキ洗浄溶液は別売りです。詳細は「10.1 メンテナンス製品」を参照してください。

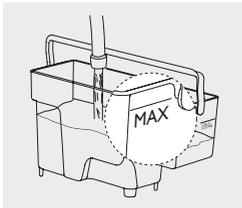
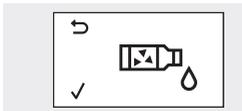
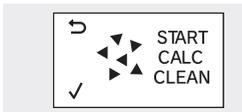
カルキ洗浄作業の準備

- > 排水トレイ側面のサイドボタンを押してください。
- > 排水トレイを取り外してください。
- > カス容器を取り出し、中身を空にしてください。
- > 排水トレイを洗浄してください。
- > 排水トレイとカス容器をマシンに取り付けてください。
- > 可動抽出口とスチーム/給湯ノズルの下に大きめの容器 (1.5ℓ) を置いてください。
- > パナレロをスチーム/給湯ノズルから取り外してください。

カルキ洗浄作業

- ▲ インテンザ浄水フィルターが取付けられている場合、水タンクから浄水フィルターを取外し、初期部品の小さな白いフィルターに交換してください。
- > 水タンクにカルキ洗浄溶液を注ぎます。
- > 次に水タンクにカルキ洗浄溶液の取り扱い説明に指示されている希釈率の水を注ぎます。
- > 水タンクをマシンに取り付けます。



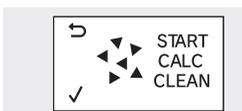


- > ≡ メニューボタンを押してメニューをスクロールするとカルキ洗浄機能が表示されます。
 - > ✓ OKボタンを押してカルキ洗浄機能を選択します。
 - > ✓ OKボタンを押してカルキ洗浄作業を開始します。マシンは間隔を置いてカルキ洗浄溶液をマシン内に取り込み始め、ノズルと抽出口から溶液が排出されます。ディスプレイに作業の進行状況が表示されます。
 - ▲ ESCボタンを押すと作業が一時停止し、OKボタンを押すと作業が再開します。可動抽出口とスチーム／給湯ノズルの下に置いた容器の水を捨てるときや、作業を中断したい時に使用してください。
- 水タンクが空の表示が出るまでカルキ洗浄溶液を排出してください。(水タンクに少量の溶液が残った状態で表示されますが、故障ではありません)
- ※作業の途中で溶液、または水を足さないでください。水タンクが空の表示が出ないと先の工程に進むことができません。
- > 水タンクを取り外し残った溶液を捨て、水できれいにすすいでください。
 - > 水タンクにきれいな水をMAXレベルまで注ぎ、マシンに取り付けてください。
 - > 可動抽出口とスチーム／給湯ノズルの下に置いた容器の中身を空にしてください。

すすぎ作業

- > ✓ OKボタンを押してすすぎ作業を開始します。
- ▲ ESCボタンを押すことで作業の一時停止、OKボタンを押すことで作業の再開が可能です。可動抽出口とスチーム／給湯ノズルの下に置いた容器の水を捨てるときや、作業の中断をした時に使用してください。
- ▲ 水タンクのMAXレベルまで水を注がずにすすぎ作業を行った場合、すすぎが足りず再度MAXレベルまで水を注ぎすすぎ作業を行わなければならないことがあります。すすぎ作業が自動的に終了するまで、同作業を行ってください。
- > ✓ カルキ洗浄作業を終了するには、OKボタンを押してください。カルキ洗浄作業終了後、マシンは加熱と自動すすぎを行い、メインメニューの戻ります。
- > 可動抽出口の下に置いた容器を取り除いてください。
- > 可動抽出口とスチーム／給湯ノズルの下に置いた容器を取り除き、排水トレイの水を捨ててください。
- > インテンザ浄水フィルターを取り付けていた場合は、初期部品の小さな白いフィルターを取り外し、交換してください。
- > パナレロを、スチーム／給湯ノズルに取り付けてください。
- > 「5.2.3 手動すすぎ」を実行してください。

7.5.1 カルキ洗浄作業の中断



- > ⏻ カルキ洗浄作業を開始した場合、最後まで洗浄作業を完了させる必要があります。作業途中で電源を切らないでください。
- > カルキ洗浄作業の途中で作業が進まなくなった場合、スタンバイボタンを押して終了することができます。

カルキ洗浄作業の中断、もしくは停電や電源コードを誤って抜いてしまった場合は、水タンクを空にし、カルキ洗浄溶剤が残らないよう、よく洗ってください。次に水タンクの「CALC CLEANレベル」まで水を注ぎ「5.2.3 手動すすぎ」を実行してください。この場合、出来るだけ早急にカルキ洗浄作業を再度行ってください。

8. メンテナンスメニュー

8.1 設定一覧

ディスプレイ表示	設定内容	初期値	説明
	Coffee temperature (コーヒー温度)	MED (中温)	コーヒー抽出温度の設定ができます。 MAX:高温 MED:中温 MIN:低温
	STANDBY (スタンバイモード)	480分 (8時間)	スタンバイモードになるまでの時間設定ができます。 480分・240分・120分・30分から設定可能です。 ※スタンバイモードとは、コーヒー及び給湯、スチームを最後に使用してから設定した 時間内に全く操作しなかった場合、自動的に節電モードに切り替わる機能です ※スタンバイモードへの切替を無しにすることはできません。
	Contrast (ディスプレイの明暗)	標準	ディスプレイの明暗調整ができます。 ↑:画面が明るくなる ↓:画面が暗くなる
	Water hardness (水硬度)	1(軟水)※	水の硬度設定が4段階で設定できます。 4:高硬水 3:中硬水 2:低硬水 1:軟水
	INTENZA+water filter (インテンザ+浄水フィルター)	OFF (取り付け無し)	インテンザの設定。 (詳細は「10.2 インテンザ」を参照してください)

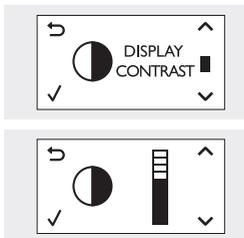
※日本国内は一般的に軟水となりますので初期設定のまま使用してください。

8.2 設定の変更

プログラムメニューからマシンの設定を変更することができます。設定の変更はマシンの電源を入れ、作業の準備ができていない必要があります。

- > ≡ メニューボタンを押し、機能リストをスクロールして変更する設定を選択してください。
注:左図は一例です。

- > ✓ OKボタンを押して、変更する機能を決定します。
設定変更が可能となります。
- > ▲ アップボタンを押して、設定値を増やすことができます。
- > ▼ ダウンボタンを押して、設定値を減らすことができます。
- > ✓ OKボタンを押して、設定値を確定します。
変更が確定すると、OKメッセージが表示されます。
- ▲ OKボタンを押していない場合、変更した設定は保存されません。
- > ↶ ESCボタンを押して、プログラムメニューを終了します。
3分間ボタンを押さないと、自動的にプログラムが終了します。



8.3 プログラムの初期化

プログラムメニューから設定値を初期値(工場出荷時)に戻すことができます。

- > ≡ メニューボタンを押し、機能リストをスクロールしてリセット機能を選択します。
- > ✓ OKボタンを押して機能を選択します。
変更が確定すると、OKメッセージが表示されます。
- > ↶ ESCボタンを押してプログラムメニューを終了します。
3分間ボタンを押さないと、自動的にプログラムメニューが終了します。



9. トラブルシューティング

ご利用いただいているマシンに関連する、よくある問題をまとめてあります。トラブルシューティングで解決できない問題については、フジ産業(株)webサイト「www.gaggia.jp」内のFAQページを参照するか、フジ産業(株)三郷センターにお問い合わせください。
連絡先は「13.1 お問い合わせ先」や付属の保証書、もしくはフジ産業(株)webサイトを参照してください。

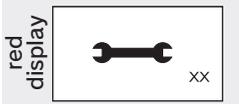
9.1 マシンメッセージ: 赤色表示

ディスプレイ表示	説明	対処方法
	排水トレイとカス容器を取り付けてください。サービスタブを閉めてください。	排水トレイ、カス容器を所定の位置に取り付けてください。 (「7.1.1 マシン清掃 (必要時)」参照)
	コーヒー豆が不足しています。	コーヒー豆を補充してください。 (「4.3 コーヒー豆の補充」参照)
	ブルーイングユニットがマシンに正しくセットされていません。	「7.2.1 ブルーイングユニット洗浄 (毎日)」内「ブルーイングユニットをマシンに取り付ける」を確認し、ブルーイングユニットを取り付けてください。直らない場合は、カス容器と排水トレイがセットされた状態でサービスタブを閉め電源を入れ直します。サービスタブを開け、排水トレイを引き出してからブルーイングユニットを正しくセットし直してください。その後、排水トレイをセットしサービスタブを閉めてください。
	カス容器がコーヒカスでいっぱいです。	カス容器をマシンから取り外して空にしてください。 (「7.1.1 マシン清掃 (必要時)」参照)
	水タンクが空です。	水タンクに水を補充してください。 (「4.2 水タンクへの水の補充」参照)
	豆容器のフタが開いた状態でコーヒー抽出ボタンが押されました。	30秒以内に豆容器のフタを閉めてください。引き続き豆を挽き始めます。
	マシンエラー	「9.3 マシンエラー」の指示に従ってください。

9.2 警告表示

ディスプレイ表示	説明	対処方法
	コーヒー豆が不足しています。	コーヒー豆を補充してください。 (「4.3 コーヒー豆の補充」参照)
	インテンザ浄水フィルターを交換してください。	インテンザ浄水フィルターを交換してください。 (「10.2.2 インテンザ浄水フィルターの交換」参照)
	水回路空気抜き作業を行ってください。	水回路空気抜き作業を行ってください。 (「5.2.1 水回路空気抜き作業」参照)
	カルキ洗浄を行ってください。	カルキ洗浄を行ってください。 (「7.5 カルキ洗浄作業」参照)
	マシン内部ヒーターの加熱中です。	しばらくお待ちください。
	すすぎ作業中です。	しばらくお待ちください。
	コーヒーの抽出がキャンセルされました。	しばらくお待ちください。

9.3 マシンエラー



マシンエラーが表示されると、エラーコード（E* *の数字）がディスプレイ右下隅に表示されます。

エラーコードを確認し、次の表を参照してください。

エラーコード	内容	原因	対処方法
1	グラインダー詰り	マシンからブルーイングユニットへのコーヒー供給口の詰り	マシンからブルーイングユニットへのコーヒー供給口の洗浄を行ってください。 （「7.2.1 ブルーイングユニットの洗浄（毎日）参照」）
3-4	ブルーイングユニットがロックされ取外せない。	マシンからブルーイングユニットへのコーヒー供給口の詰り	サービスタブを閉めマシンの電源を入れ直してください。 「コーヒー抽出準備OK」の表示確認後、ブルーイングユニットの取り外しが可能となります。 （「7.2.1 ブルーイングユニットの洗浄（毎日）参照」）
	マシン内部のギアボックスに負荷がかかっている。	ブルーイングユニットの動きが悪くなっています。	ブルーイングユニット洗浄後グリスアップをお試しください。 （「7.2.2 ブルーイングユニットのグリスアップ（月1回）参照」）
5	水回路のエラー	マシン内水回路に水が回っていきません。	水タンクが正位置にしっかり入っているか確認してください。 マシン側の水タンク設置場所に豆等の異物がなくか確認してください。

その他のエラーコード

> マシンの電源を落とし、30秒後に電源を入れ直してください。

> エラーが再度表示される場合、2〜3回お試しください。

マシンが起動しない場合、ディスプレイに表示されたエラーコード（E* *の数字）を確認し、フジ産業（株）三郷センターまでご連絡ください。

連絡先は「13.1 お問い合わせ先」や付属の保証書、もしくは弊社ホームページを参照してください。

9.4 よくあるお問い合わせ

内容	原因	対処方法
マシンの電源が入らない。	マシンに電源プラグが接続されていない。	電源プラグを電源ソケット（マシン本体背面下）の奥までしっかりと差し込んで接続してください。
	メインスイッチが「OFF（0の位置）」になっている。	マシン背面下のメインスイッチを「ON（1の位置）」にしてください。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーを立ち上げてください。
排水トレイがすぐにいっぱいになってしまう。	スチーム使用、マシン内部の水回路に水を自動補充する際、リンス作業した場合、排水トレイに排水されます。	異常ではありません。
カス容器にカスが入っていないのに、カス容器清掃のサインが表示される。	マシンの電源がOFFの時に、カス容器を取り外し清掃をした。	排水トレイとカス容器を電源の入った状態で取り外し清掃してください。 「サービスタブを閉じてください」のサインが表示されているのを確認後、排水トレイ、カス容器をマシンに取り付けてください。
ブルーイングユニットが取り外せない。	ブルーイングユニットの位置が正しくありません。	サービスタブを閉じ、マシンの電源を入れ直してください。 「抽出準備OK」のサインが表示され、ブルーイングユニットの取り外しが可能になります。
	カス受けが取付けられませんでした。	ブルーイングユニットを取り外す前に、排水トレイを引き出してカス受けを取外してください。
ブルーイングユニットが取付けられない。	ブルーイングユニットの位置が正常ではない。	ブルーイングユニットを正しい位置に戻してください。 （「7.2.1 ブルーイングユニット洗浄（毎日）参照」）
	マシン内部のギアボックスの位置が正常ではない。	排水トレイとカス容器を適切な位置に取り付け、サービスタブを閉めます。 ブルーイングユニットをマシンに取り付けないまま、マシンの電源を入れると、マシン内部のギアボックスが正常な位置に戻ります。 マシンの電源をOFFにしてブルーイングユニットを正しい位置に戻してください。 （「7.2.1 ブルーイングユニット洗浄（毎日）参照」）
コーヒーの抽出量が少ない。 クレマが薄い。	グラインダーの豆挽き粗さが、細かすぎる。	豆挽き粗さの細かさを調整してください。 （「5.3.3 セラミックコーヒーグラインダーの調整」参照）
	コーヒー豆のブレンドの相性が良くない。 もしくは豆が劣化している、 豆の挽き粗さが粗く設定されている。	豆の種類を変えてください。 豆の挽き粗さの細かさを調整してください。 （「5.3.3 セラミックコーヒーグラインダーの調整」参照）
	最適な粉量になるようにマシンが自動調整中です。	コーヒーを数杯抽出し様子を見てください。
コーヒーが薄い。	ブルーイングユニットの動きが重いため、マシンが自動調整で豆量を減らした。	ブルーイングユニット洗浄後グリスアップをお試しください。 （「7.2.1 ブルーイングユニット洗浄（毎日）参照」） （「7.2.2 ブルーイングユニットのグリスアップ（月1回）参照」）

内容	原因	対処方法
コーヒーがぬるい。	カップが冷えている。	お湯でカップを温めてください。
	温度が正しく調整されていない。	温度を調整してください。(「5.3.4 抽出温度調整」参照)
	マシン内部ボイラーの水路がカルキで詰まっている。	カルキ洗浄作業を行ってください。(「7.5 カルキ洗浄作業」参照)
カスが水っぽく、円柱状に固まらない	豆の種類、挽き粗さ、粉量によりカスの状態は変わります。	コーヒーが通常通り抽出されていけば異常ではありません。抽出量が少ない、クレマが薄い等の問題があれば、トラブルシューティングの該当する項目を参照してください。
コーヒー豆を挽くがコーヒーの抽出速度が遅い。又は抽出されない	ブルーイングユニットが汚れている	ブルーイングユニットの洗浄を実施してください。(「7.2.1 ブルーイングユニット洗浄(週1回)」参照)
	コーヒー豆の挽き粗さが細かすぎる	コーヒー豆の挽き粗さを、挽き粗さ調整ダイヤルで1メモリずつ粗く調整してください。 「5.3.2 セラミックコーヒーグラインダーの調整」参照
	コーヒー豆の挽かれる粉量が多い	コーヒーが抽出されず、カス容器に乾いたコーヒーの粉が捨てられている場合、豆の種類を変えた時、挽き粗さを調整した際は、最適な粉量になるようにマシンが自動調整中です。数杯抽出を繰り返すと正常に抽出が可能になります。(「5.3.1 豆量の調整」参照)
	マシン内部ボイラーの水路がカルキで詰まっている	カルキ洗浄作業を行ってください。(「7.5 カルキ洗浄作業」参照)
	可動抽出口が詰まっている	可動抽出口のコーヒーを抽出する穴を掃除してください。(破損する可能性のない針金等を使用) その後、「7.2.3 コーヒー経路の洗浄」を実施してください。
可動抽出口の抽出口以外からコーヒーが漏れる。	可動抽出口のコーヒーを抽出する穴を掃除してください。(破損する可能性のない針金等を使用) その後、「7.2.3 コーヒー経路の洗浄」を実施してください。	
マシンの加熱に時間がかかる。	マシン内部ボイラーの水路がカルキで詰まっている	カルキ洗浄作業を行ってください。(「7.5 カルキ洗浄作業」参照)
ミルクがぬるい。 ミルクフォームが泡立たない。	カップが冷えている	カップをお湯で温めてください。
	バナレロが汚れているか、取付け方が間違っている	バナレロを洗浄し、マシンに取り付けてください。(「7.4.2 バナレロの洗浄(毎日)」及び「6.2 バナレロ」参照)
	使用している牛乳の種類がミルクフォームに適していない	少なくとも3.5%程度の乳脂肪分を含み、よく冷えたミルク(5℃以下)でお試ください。(「6.3 カプチーノなど、ミルクメニューの作り方」参照)

10. メンテナンス用アクセサリおよび製品

10.1 メンテナンス製品

マシンの洗浄とカルキ洗浄作業には、弊社が推奨するメンテナンス製品を使用してください。
メンテナンス製品については、フジ産業(株)三郷センターにお問い合わせください。
連絡先は別途付属の保証書に記載されております。
また、弊社webサイト「www.gaggia.jp」でも確認できます。

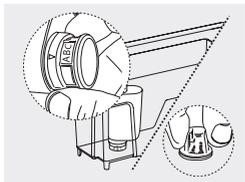
メンテナンス製品
Product
・カルキ洗浄溶剤
・インテンザ浄水フィルター
・ブルーイングユニット用グリス
・コーヒー・ミルク油脂洗浄剤
・クリーニングタブレット
・メンテナンスキット
・ブラシ

10.2 インテンザ浄水フィルター

本製品にはインテンザ浄水フィルターの設置を推奨します。
インテンザ浄水フィルターを設置することで、マシン内部のカルキ成分付着を効果的に防ぎます。

水質は美味しいコーヒーを抽出するための基本的な要素です。
浄水された水は薫り高いアロマをコーヒーにもたらしめます。

10.2.1 インテンザ浄水フィルターの取付け方



- > 水タンクを取り外し、水が入っていれば捨ててください。水タンク内の初期フィルター（小さな白いフィルター）を取外し、乾燥させてから保管してください。

インテンザ浄水フィルターを取付け方

- > インテンザ浄水フィルターをパッケージから取り出し、開口部を上にして冷水に垂直に浸し、内部の空気を抜くように側面を数回軽く押してください。
- > インテンザ浄水フィルターのダイヤルを回転し、△の位置を「A（軟水）」に合わせてください。

フィルターの表記	水硬度
A	軟水
B	硬水
C	高硬水

- > 水タンクにインテンザ浄水フィルターを取り付けます。
- > しっかりと固定される位置までインテンザ浄水フィルターを押し込んでください。
- > 水タンクのMAXレベルまで水を補充し、マシンにセットしてください。インテンザ浄水フィルター内の空気抜きのため、スチーム／給湯ノズルから約500cc給湯してください。（「6.4.1 給湯方法」参照）
- > 水タンクに再度水を補充してください。

インテンザ浄水フィルター取付け時のマシン設定方法

- > ≡ メニューボタンを押し、メニューから「インテンザ機能」を選択します。初期値はOFFになっています。
- > ^ アップボタンを押して「ON」を選択します。
- > ✓ OKボタンを押して変更を確認します。
- ⚠ OKボタンを押して確定しないと、設定の変更は保存されません。設定をONにするとインテンザ浄水フィルターの交換時期にディスプレイにフィルターアイコンが表示されます。



10.2.2 インテンザ浄水フィルターの交換

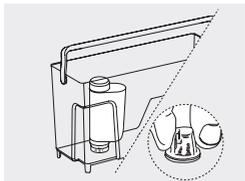


- > ↶ ESCボタンを押して設定モードを終了します。3分間何もボタンを押さないと、自動的に設定機能が解除されメインメニュー表示に戻ります。

インテンザの交換時期になると、ディスプレイにフィルターアイコンが表示されます。「10.2.1 インテンザ浄水フィルター」を参照して、インテンザ浄水フィルターを交換してください。

インテンザ交換時のマシン設定方法

- > ≡ メニューボタンを押し、メニューから「インテンザ機能」を選択します。設定がONであることを確認してください。
- > ✓ ダウンボタンを押してRESET（リセット）を選択します。※フィルター交換をせずに取り外す場合はOFFを選択してください。
- > ✓ OKボタンを押して変更を確認します。
- ⚠ OKボタンを押して確定しないと、設定の変更は保存されません。RESETを選択すると、マシン内部でインテンザ浄水フィルターの次回交換時期までのカウントが始まります。
- > ↶ 設定モードを終了するには、ESCボタンを押してください。3分間何もボタンを押さないと、自動的に設定モードが解除されます。マシンのディスプレイはメインメニューに戻ります。



11. 製品仕様

製品名	アニマBX/アニマDX		
型番	SUP043/SUP043P		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	1200W		
外形寸法	幅 221mm × 高さ 340mm × 奥行 430mm		
本体材料	ABS-熱可塑性樹脂		
重量	7.5kg		
電源コードの長さ	1200mm		
カップサイズ	最大高さ 150mm		
水タンク容量	1.8ℓ(取り外し可能)		
豆容量	250g		
カス容器容量	15 杯		
ポンプ圧力	最大 15 気圧		
ボイラー	ステンレスボイラー		
安全装置	2重安全サーモスタット		
	ポンプ安全弁 (圧力安全弁)		
コーヒー抽出設定量	初期設定値	最小抽出量	最大抽出量
エスプレッソ	約 40 ml	約 10 ml	約 230 ml
エスプレッソロング	約 120 ml	約 10 ml	約 230 ml

12. マシンの廃棄



改良のため、仕様および性能の一部を予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。すべての数値は概算値です。

本製品は家庭用廃棄物として処理できません。
本製品に関する詳しいリサイクル情報については、地域の行政機関、ごみ処理業者にお問い合わせをお願いします。

13. 保証とアフターサービス

13.1 お問い合わせ先

保証

- 本製品には、保証書を別途添付しております。
- 必ず保証書の記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合は保証の対象外になりますのでご注意ください。
- その他、保証に関する詳しい内容は保証書をご参照ください

保証期間：お買い上げの日から1年間です。

- ご不明な点や修理に関するご相談は「13.1 お問い合わせ先」へご連絡ください。
- 「9.4 トラブルシューティング」をよくお読みの上、故障かどうかもう一度確認してください。なお、異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから「13.1 お問い合わせ先」へご連絡ください。

ご質問、お問い合わせがある場合、フジ産業（株）webサイト「www.gaggia.jp」を確認するか、下記へご連絡ください。

フジ産業株式会社 三郷センター
〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎1丁目105
TEL.048-949-2888 FAX.048-949-4141
※日曜日を除く

GAGGIA S.p.a. は、本製品に関する必要と思われるすべての変更を行う権利を留保します。

GAGGIA
MILANO

GAGGIA S.p.A.

Sede Legale/Registered Office
Piazza A.Diaz,1
20123 MILANO

Sede Amministrativa/Administrative Office
Via Torretta, 240
40041 Gaggio Montano (BO)
+39 0534 77111

Rev. 01 26. 06. 2018

フジ産業株式会社 三郷センター
〒341-0044
埼玉県三郷市戸ヶ崎 1 丁目 105
TEL. 048-949-2888 FAX. 048-949-4141
※日曜日を除く
www.gaggia.jp